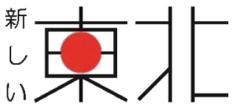


地域の未来を共に創り、支え合える仲間を見つけてみませんか



復興庁 地域づくりハンズオン支援事業 Future Creation College in TOHOKU



復興庁では、平成29年度から実施する地域づくりハンズオン支援事業において、被災地の自治体、NPO、その他地域課題の解決に取り組む各種団体等が地域の担い手として新たな取組を実施する上で必要な「地域内での協力体制」や「地域外とのネットワーク」の構築に向けた研修を実施します。

研修では、地域課題の解決に取り組む過程において個々が抱える悩みを共有し、目指すべき目標に向け、多様な関係者とともに共創関係を築きながら進み、組織、地域を超えて、未来を共に創っていく仲間となることを目的としています。3回の研修を通して、「地域内でのチーム構築」や「切磋琢磨できる関係性の構築」に向けた、「“共創”に必要なスキル・マインドの学習」及び「個人・組織を超えた生態系づくり」を目指します。

【研修スケジュール】（3回全てにご参加頂くことを推奨しております。）

- 第1回目（交流会型） 平成29年7月3日（月）10時～17時半
場所：岩手県盛岡市 MALIOS（マリオス）
テーマ：
 - ・「話す」「聞く」のワークショップから、相互理解・コミュニケーションの重要性を学ぶ
 - ・ケーススタディ、島根県海士町の事例から学ぶ地域プロジェクトで陥りがちな罠
- 第2回目（合宿型） 平成29年8月30日（水）～9月1日（金）
場所：宮城県丸森町 公営国民宿舎あぶくま荘
テーマ：チームの中でビジョンを共有し、今後チームとして取り組むべき課題を明確化するため、「ビジョンと現状のギャップを生んでいる構造の理解」や「今後の特に注力すべきポイントを探求」
- 第3回目（交流会型） 平成29年11月13日（月）
場所：福島県国見町 道の駅国見 あつかしの郷
テーマ：
 - ・これまでのアクションを振り返り、成長や失敗を称え、次に向かっていくきっかけをつくる
 - ・ケーススタディ、福島県国見町の事例から学ぶ

【募集定員】

- ・地域づくりハンズオン支援対象団体の職員 16名
- ・地域課題解決に取り組む被災地の自治体・NPO等の職員、学生など 10名

【参加費】 無料 ※会場まで（から）の交通費等は各自ご負担ください。

【応募】 平成29年6月23日（金）締切 ※募集は締め切りました。

【研修コーディネーター】

株式会社 アスノオト 代表取締役
信岡 良亮



1982年生まれ。関西で生まれ育ち大学卒業後、東京でITベンチャー企業に就職。Webのディレクターとして働きながら大きすぎる経済の成長の先に幸せな未来があるイメージが湧かなくなり、2007年6月に退社。小さな経済でこそ持続可能な未来が見えるのではないかと、島根県隠岐諸島の中ノ島・海士町という人口2400人弱の島に移住し、2008年に株式会社巡の環を仲間と共に企業（現在は非常勤取締役）。6年半の島生活を経て、地域活性というワードではなく、過疎を地方側だけの問題ではなく全ての繋がりの関係性を良くしていくという次のステップに進むため、2014年5月より東京に活動拠点を移し、都市と農村の新しい関係を創るために2015年、株式会社アスノオト創業。



株式会社 BOLBOP
松島 宏佑

宮城県白石市出身。東日本大震災で、実家が被災したことをきっかけに宮城県での活動を開始。一般社団法人ふらっとーほくプロジェクトを立ち上げ代表理事を務める。まちづくりで有名な島根県隠岐郡海士町での地域に根ざしながら都市と農村をつなぐ経験を活かして活動中。2014年より株式会社 BOLBOP に参画し、企業の立場からも活動を開始。

and more

【お問い合わせ先】

復興庁総合政策班
電話：03-6328-0223
FAX：03-6328-0292
メール：yoshihito.homma.h8d@cas.go.jp

